

当院消化器外科に入院された肝がんおよび非代償性肝硬変の方へ

2019 年 2 月

国が進める「肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の一環として、当院では全国 5000 を超える施設が参加する医療情報データベース National Clinical Database (以下 NCD) を通じて収集される肝がん・非代償性肝硬変患者データに基づくデータベース構築に協力しています。

【研究課題】

「肝がん・非代償性肝硬変患者データベース構築」(審査番号: 2018053NI)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 消化器内科

研究責任者 小池和彦 消化器内科・教授

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【既存データの提供機関】

全国の NCD 参加施設 <http://www.ncd.or.jp/list/>

担当業務 データ収集・匿名化

【研究期間】

承認日～2023 年 3 月 31 日

【対象となる方】

2018 年 4 月 1 日 ～ 2023 年 3 月 31 日の間に、肝がんおよび非代償性肝硬変の治療目的に入院された方。

【研究の目的】

本研究は、肝がん・非代償性肝硬変患者さんの入院毎のデータを収集し、分析することによって、患者さんの医療ニーズを明らかにし、今後のより良い診療の提供に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

NCD 参加施設において 2018 年 4 月 1 日以降、肝がん・非代償性肝硬変患者さんが当院に入院された場合、その都度、臨床情報を収集します。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの個人情報を含まない診療情報は、NCD 上に構築された本研究用のデータベースに保管されます。NCD 上での管理番号とあなたを同定する番号との対照表は、暗号化されたサーバー内に厳重に保管されます。

この研究のためにご自分あるいはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2023 年 3 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、「厚生労働行政推進調査事業費（肝炎等克服政策研究事業）肝がん・重度肝硬変の治療に係るガイドラインの作成等に資する研究」から支出されています。

尚、あなたへの謝金はございません。

【研究問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院・消化器内科 建石 良介

住所：東京都文京区本郷 7-3-1 Eメールでのお問い合わせ：kangantouroku-office@umin.ac.jp

【当院問い合わせ先】

市立伊丹病院 消化器外科 森田 俊治

2019.2.21